

# 龍馬らの声 19人熱演

高知市 生まれたまち記念館

## 仮想映像用 来月末にも公開



志国高知  
幕末維新博

高知市立龍馬の生まれたまち記念館(同市上町2丁目)で公開される、坂本龍馬の生きた時代を紹介するバーチャル映像の音声収録が16日、同市内のスタジオで行われた。公募で選ばれた市民ら19人が声優に挑戦し、龍馬ら登場人物を生き生きと演じた。

同市は「志国高知幕末維新博」に合わせ、同館に「バーチャル4面シアター」の設置を準備中。CGを交えた映像で龍馬の青少

年期の逸話などを紹介する内容で、龍馬や姉の乙女らを演じる声優を公募した。

当初の募集枠は11人だったが、県内外から約50人の熱意あふれる応募があったため、同市が急ぎよ卒を拡大。16日の収録には8歳から49歳の男女19人が参加し、映像に合わせて声を吹き込むタイミン

グや、せりふ回しに苦戦しながら、土佐弁で幕末の人物を熱演した。  
少年時代の龍馬を演じた初月小4年の井上源大君(9)は「龍馬になれてうれしい。大変やったけど、龍馬ってこんな人やったがやって知ってもらえたら」。乙女役の土佐塾高3年、西井輝路さん(17)は「将来演劇の道に進みたいので、参加できて良かった。聞いている人が楽しくなる作品にしたい」と話していた。

シアターは5月末ごろから公開予定。

(森田千尋)

坂本龍馬や龍馬ゆかりの人物のせりふを収録する児童ら(高知市西秦泉寺のスタジオ)